

巖谷國士★講演会

マン・レイのフランス

— 言葉・自由・女性たち

マン・レイは女性を対等に見て、ひとりひとりの個性と美しさを新たに発見し、作品にのこしました。偏見も差別意識もないその女性像には、今日に必要な自由と悦びがあります。

(巖谷國士)



愛、別れ、発見、冒険、遊び—。

マン・レイと女性たち

MAN RAY the WOMEN

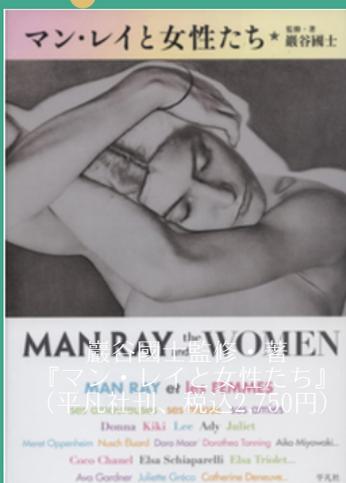
監修・著 巖谷國士

定価：本体2,500円(税別) 平凡社

詳細な
「人名解説と索引」、
映画紹介、
パリの地図
付き



MAN RAY 2017 TRIBUTE / ADAGE Paris & JASPER, Tokyo, 2021 ©2020



巖谷國士監修・著
『マン・レイと女性たち』
平凡社刊、税込2,750円

開催日：2022年10月1日(土) 14時～(13時30開場)

開催場所：松山市立子規記念博物館 1階 視聴覚室

参加費：一般 3,000円 / 学生 1,000円

(スライドショー視聴料を含む)

【プログラム】

★ 14時～『マン・レイと女性たち』スライドショーの上映
(脚本/巖谷國士、朗読/劇団唐組 久保井研・藤井由紀)

★ 14時50分頃～ 巖谷國士★講演会

★ 16時50分頃～ 懇談&サイン会

★ 18時～ 著者を囲んで夕食会(別途申込必要)

巖谷國士（いわやくにお）



フランス文学者・批評家・作家・写真家・明治学院大学名誉教授。1943年、東京都港区に生まれる。祖父はメルヘン作家・児童文学者の巖谷小波。1960年代からシュルレアリスムの研究と実践で知られ、第一人者とされる。文芸・美術・映画・マンガ批評、紀行・庭園論・女性論、講演・展覧会監修など活動は多岐にわたり、それぞれの分野において専門性の有無を問わず幅広い世代からの支持を集める。近年ではTwitter上での読者・フォロワーも多い。

(Twitter ID : @papi188920)

著書：『シュルレアリスムとは何か』『封印された星：瀧口修造と日本のアーティストたち』『森と芸術』『幻想植物園』『旅と芸術 発見・驚異・夢想』『マン・レイと女性たち』ほか多数。雑誌『アートコレクターズ』に「記憶のギャラリー」連載中。

訳書：ブルトン『シュルレアリスム宣言・溶ける魚』『ナジャ』、エルンスト『百頭女』、ドーマル『類推の山』ほか多数。

書籍『マン・レイと女性たち』スライドショー視聴会

巖谷國士先生とパリの国際マン・レイ協会の監修する展覧会「マン・レイと女性たち」が、昨年の夏より日本全国4カ所（渋谷・長野・新潟・神奈川+昨冬には北京・青島）を巡回しています。本スライドショーは、同展の日本側監修者であり、展示作品を掲載した書籍『マン・レイと女性たち』の著者でもある巖谷先生が脚本と選曲を手がけ、劇団唐組の名優・久保井研と藤井由紀がナレーションを担当しています。

40分間の上映のうちに、20世紀を代表する多才な芸術家マン・レイ（1890-1976）の生涯をたどり、女性像を中心とする作品を解説しながら、マン・レイと女性たちをめぐる17のテーマ（書籍目次を参照）を展開してゆきます。

Coming Soon

展覧会「マン・レイと女性たち」
神奈川県立近代美術館・葉山
2022年10月22日（土）～2023年1月22日（日）

巖谷先生の講演は2022年11月26日（土）を予定
主催：神奈川県立近代美術館
会場：逗子市民交流センター
定員：70名事前予約制 有料

詳細は美術館ウェブサイト等にてご確認ください。

劇団唐組秋公演
『秘密の花園』作=唐十郎
場所：東京御茶ノ水・猿樂通り、
東京雑司ヶ谷・鬼子母神、金沢市

1989年に劇団唐組入団。90年「透明人間」で演出助手、97年の再演で演出を担当。2012年より座長唐十郎の代行として唐組作品を演出し、劇団の顔として主演も務める。

久保井研
Ken Kuboi



藤井由紀
Yuki Fujii



1995年に劇団唐組入団。多くの作品でヒロイン役を演じる劇団唐組「紅テント」の看板女優。代表作に、2003年「泥人魚」、16年「秘密の花園」、19・21年「ビニールの城」など。2017年第25回読売演劇大賞優秀女優賞受賞。



申し込み・問い合わせ先 愛媛日仏文化交流会

参加申し込みフォーム：<https://onl.bz/NfCxyAK>

TEL:0898-33-3768（越智） MAIL: info@3381.jp

